

桜花の候 宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部会員の皆様には、日々恙なくお過ごしのこととご拝察を申し上げます。新型コロナも漸く「新型」の冠がとれ、5月8日からは第5類に格落ちし、インフルエンザ等と同じ扱いになるらしく、誠にご同慶の至りと存じます。

さて2月の自衛隊関連行事は本格的に復活したようで、5日には MRTmicc にて自衛隊宮崎地方協力本部創立68周年記念式典が3年ぶりに盛大に開催され、大勢の懐かしい方々と近況報告等で大いに懇親を深めることが出来ました。

また11日は宮崎神宮境内にての紀元節に列席し、責任役員でもあった故岩切達郎氏が不在で寂しくもありましたが、厳かに齋行され主催者代表のご挨拶をさせて頂いた処です。

そして17日は当支部総会をこちらも3年ぶりに開催し、ご来賓と支部会員総勢30名の方々にご参集を賜り全ての議案にご賛同を頂いた後、賑やかな乾杯で盛り上がりました。

藤永新田原基地司令や黒子地本部長、谷43連隊長など凛々しい制服姿でご臨席を賜り、支部会員の皆様と大いに交流を愉しまれていたようで、皆さんブランクが長かった分積もる話に花が咲き、霧島酒造から頂戴した焼酎を旨そうに呑んでおられたようです。

その席上、「私が宮崎支部を再生したのが20年前で未だ40代後半でしたが、来年は限りなく古希に近づく為に一支部会員として残る事は当然の事乍ら、来年こそは支部長交代を是非とも実現したい」と申し上げましたが、今年の支部長通信の中で支部長等の人事案件を含めた経過報告をさせて頂きますので、皆様も興味と関心を持ちながら我こそはと思われる方も含めて、何卒ご一読を賜れば幸いです。(笑)

更に25日は私の原隊である32連隊創立61周年記念式典が4年ぶりに大宮駐屯地で挙行され、嘗ての戦友達と旧交を温めて来ましたが、94才の元中隊長は今も75cmの歩幅を忘れず、市ヶ谷台で共に汗した旧部下達の名前も鮮明で2次会も率先躬行でした。

ところでロシアのウクライナ侵攻から1年経過し、改めて戦時の指導者の資質について考えつつ、丁度NHKで侵攻開始からの72時間のドキュメント番組が再放送されたので、ゼレンスキー大統領の胸中を忖度しながら、再びじっくり見入ったところです。

喜劇役者とも言われ戦前は評価が低く、開戦直後には国外脱出したとの噂も流れた程で、しかし彼の勇気と決断でウクライナ国民は奮い立った事は間違いなく、そのウクライナ国民は80年前の日本人の「神風特攻隊」から真の勇気を学んだようですが、もしも彼らが現代日本人の気質を知ったら一体何と思うのか、正に暗澹たる思いに駆られます。

令和5年3月1日

宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦